



絵・杉浦 孝明

年々彩々

薦青し

六月は旧暦別称で水無月。梅雨に入り、うっとうしい気分になりがちだが、緑は水を浴びイキキと、紫陽花はリズムカルに雨にはずむ。くすみか払われた街は、みずみず

梅雨前に輝くばかりの緑にて

しい顔を見せてくれる。そんな気分を表現する季語は、「薦青し」。薦が青々と茂る様子を表す。薦はブドウ科ツル性の植物。まき髭の先端が吸盤となり、大木や建物に絡みつく。色づく秋の薦はロマンチックだが、初夏の薦は青々と、これでもか！とつる葉を伸ばす。真夏になれば涼し気に、あるいは少々陰鬱に、見る側の気持ちも変化するが、この時期の薦を目にすれば、その生命力に心打たれるに違いない。各地に美しい館と薦のコン

イベント&アクセス 立教大学池袋キャンパス=JR、地下鉄東京メトロ、西武鉄道池袋駅西口から徒歩約7分。赤レンガ造りのクラシカルな建物と現代的建築物が美しく調和する。平日は学食利用や一般散策も可。豊島区西池袋3-34-1 Tel. 03-3985-2253(総務課)

6月号の目次

- 2・3面
 - 悠遊 鉄道の旅 静岡県下田市
 - ぶらっと東京街角ミュージアム
- 4面
 - 新口コモをとめよう
 - 健康寿命を全うするために
- 5面
 - 健康クッキング
- 7面
 - この人と1時間
- 8・9面
 - 科学技術 AI(人工知能)がつくる未来
 - 映画 逸品 干しシイタケ
 - 演芸
- 10面
 - 2020を味わい尽くせ!
 - 新司法八方 弁護士が目
 - 万葉のこころ
 - 景気の道しるべを読む
- 11面
 - 昭和の風景
 - 下重曉子の出会ったひとびと
- 13面
 - 紙面が語る 衝撃のあの日
 - 駅前界限 東急線九品仏駅
- 14面
 - ナンプレ
 - ときめき川柳 新鮮組
- 15面
 - 投稿コーナー
 - あぁ漢ちがい
- 16面
 - 首都圏 酒蔵めぐり 横田酒造



外山 喜望さん

小さな親友がいる。同じマンションに住む小学低学年の男の子だ。以前バットとグラブを持った彼とエレベーターに乗り合わせ「野球好きなの」「うん」と話したのがきっかけだ。以来顔が合うと野球や学校や遊びなどについて立ち話を。古希過ぎのオジサンと小さな子が友だちになるなんてめったにない。まして情の薄い都会ではなおさらだ。先日は両手荷

物でエレベーターに乗ろうとしたら偶然彼と一緒にになり、ドアを押さえ行き先の一階ボタンを押してくれた。「ありがとうございます」「うん」。それだけのことがちよつと胸が熱くなった。今の世で何かと蚊帳の外に置かれていく感の年寄りに

外に置かれていく感の年寄りに

すればそんな小さな親切がともうれしいのだ。きっと両親も優しい方なのだろう。彼がどんな青年に成長していくのか見てみたい。それまでは私も老骨にムチ打って頑張ってみよう。

(哲)

今月のプレゼント14面